

「安定的な資産形成・資産承継を  
実現するための取組方針」に基づく  
取組状況・成果指標（KPI）の状況  
（2024年度）

2025年6月

2024年度を取組状況について (サマリー)	2
取組方針 1 お客さま本位に徹したコンサルティングの実践	3 ~ 7
当行選定KPI①	投資信託販売額上位10商品
当行選定KPI②	投資信託商品ラインアップ
当行選定KPI③	保険商品ラインアップ
当行選定KPI④	グループ預り資産残高
当行選定KPI⑤	投信積立 期中振替金額
当行選定KPI⑥	NISA口座数 NISA口座利用残高
当行選定KPI⑦	FP技能士資格取得者数 (1級・2級)
取組方針 2 お客さまの利益を第一とした管理体制の強化	7
取組方針 3 手数料等の分かりやすい説明	8
取組方針 4 重要な情報の分かりやすい提供	8
取組方針 5 お客さまに寄りそったサービスの提供	9 ~ 11
当行選定KPI⑧	お客さま向けセミナー開催状況
当行選定KPI⑨	投信平均保有年数
取組方針 6 お客さま本位を实践するための体制構築	12
投資信託・外貨建て保険の販売会社における比較可能な共通KPI	13 ~ 19
共通KPI①	投資信託における運用損益別顧客比率
共通KPI②	ファンドラップにおける運用損益別顧客比率
共通KPI③	投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン
共通KPI④	外貨建保険における運用損益別顧客比率
共通KPI⑤	外貨建保険残高 上位20銘柄のコスト・リターン

# 2024年度の取組状況について（サマリー）

北洋銀行は、2017年6月9日に『**安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針～「お客さま本位」(フィデューシャリー・デューティー)の徹底～**』(FD方針)を策定し、6つの取組方針に基づき具体的な取組を実践してまいりました。

2024年度の各取組方針に係る取組状況を成果指標（KPI）および金融庁の定める比較可能な共通KPIの結果とともにご報告いたします。

## 取組方針1 お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

- ・ 道民へのNISAの普及・浸透を目指し、プロモーションを強化しました。
- ・ 商品ラインアップを見直し、道民の資産形成に資するファンドや、ニーズに対応できる保険商品の新規導入などを行いました。
- ・ お客さまの意向に反した商品販売がないよう、本部によるモニタリングを継続実施しています。

## 取組方針2 お客さまの利益を第一とした管理体制の強化

- ・ お客さまの利益を害することのないよう内部管理の方法を定め、商品取扱いの検討・確認をしています。

## 取組方針3 手数料等の分かりやすい説明

- ・ 各種商品説明資料のほか、「重要情報シート」や「商品カテゴリ横断シート」を用いた手数料の説明を行っています。

## 取組方針4 重要な情報の分かりやすい提供

- ・ お客さまにタブレットでご覧いただく提案ツールを使用するなど、最適なポートフォリオ提案を行っています。
- ・ 「北洋投資信託ラインアップ」リーフレットに「店頭取扱ファンドリスク・リターンマップ」を掲載し、お客さまの運用目的に合った商品を選びやすいよう工夫しています。

## 取組方針5 お客さまに寄りそったサービスの提供

- ・ ご高齢のお客さまへはご家族の同席をお願いするなど、お客さまの状況に応じた提案を行っています。
- ・ 研修や行員向けセミナーを継続開催し、提案力向上に取り組んでいます。
- ・ 住宅ローンご利用のお客さまへの資産運用提案に一層取り組みため、「ライフコンサルティングプラザ」を新設しました。
- ・ 相場急落時には、行内の対応ルールに基づきお客さまフォローやマーケット解説動画の配信を行いました。また、外貨建保険・変額保険のご契約者さまに対しては、年1回のフォローを必須と定め、ご契約内容やご意向の確認を行いました。
- ・ WEBでの口座開設申込・情報提供に注力したほか、「NISA休日相談会」「NISAはじめてダイヤル」など、休日・夜間のご相談受付体制を拡充しました。

## 取組方針6 お客さま本位を実践するための体制構築

- ・ 「お客さま本位を徹底」と経営理念に明記し、その浸透を経営トップが主導しています。
- ・ 営業店表彰・個人表彰制度においても、お客さま本位の活動に基づく定性評価を重視しています。

成果指標（KPI）項目		2023年度	2024年度	増減	
当 行 選 定 K P I	① 投信販売額上位10商品	国内株式4 先進国株式2 グローバル株式2 海外REIT1 バランス1	国内株式4 先進国株式2 グローバル株式2 バランス2	-	
	② 投信商品ラインアップ	153 商品	154 商品	+1 商品	
	③ 保険商品ラインアップ	54 商品	56 商品	+2 商品	
	④ グループ預り資産残高	4,677 億円	5,423 億円	+746 億円	
	⑤ 投信積立振替金額	13,145 百万円	20,021 百万円	+ 6,876 百万円	
	⑥ NISA口座数	72,280 口座	84,950 口座	+ 12,670 口座	
	NISA口座利用残高	46,805 百万円	58,372 百万円	+ 11,567 百万円	
	⑦ FP資格取得者数（2級以上）	1,449 人	1,435 人	-14 人	
	⑧ お客さまセミナー開催状況	職域セミナー・座談会 2,173 回	1,776 回	-397 回	
⑨ 投信平均保有年数	3.42 年	4.43 年	+1.01 年		
共 通 K P I	① 投信運用損益別顧客比率（運用損益プラス先割合）	91.2 %	78.7 %	-12.5 %	
	② ファンドラップ運用損益別顧客比率（運用損益プラス先割合）	100.0 %	75.9 %	-24.1 %	
	③ 投資信託残高上位20銘柄	加重平均コスト	1.51 %	1.31 %	-0.20 %
		加重平均リスク	14.10 %	13.32 %	-0.78 %
		加重平均リターン	9.82 %	14.07 %	+4.25 %
	④ 外貨建保険運用損益別顧客比率（運用損益プラス先割合）	81.5 %	70.7 %	-10.8 %	
	⑤ 外貨建保険残高上位20銘柄	加重平均コスト	0.93 %	0.73 %	-0.20 %
		加重平均リターン	3.71 %	2.87 %	-0.84 %

金融庁原則と取組方針との対応を、各ページの見出しに表示しています。

なお、当行は金融商品の組成に携わっていないため、金融庁補充原則1・補充原則2（注1）（注2）、補充原則3（注1）（注2）（注3）、補充原則4（注1）（注2）（注3）、補充原則5（注1）（注2）は、非該当としています。

# 取組方針 1 お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

金融庁原則2、2（注）に対応

## 当行選定KPI①

### 投資信託販売額上位10商品

- ご提案に際しては、お客さまのご意向をよくお伺いし、ニーズに合致した販売となるよう取り組んでいます。
- 2024年度は、新NISAの開始や、株価・為替の大きな変動があった中、長期的な資産の成長に期待できる、先進国・グローバル株式を対象としたファンドの販売割合が高くなりました。

### 2023年度（2023/4～2024/3）

（店頭・ネット取扱い分合計、投信積立を含む。）

順位	ファンド名	運用会社	投資対象	割合
1	野村インデックスファンド・日経225	野村アセットマネジメント	国内株式	17.0%
2	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	国内株式	8.7%
3	iFree S&P500インデックス	大和アセットマネジメント	先進国株式	8.4%
4	たわらノーロード 先進国株式	アセットマネジメントOne	先進国株式	5.9%
5	ウォルター・スコット優良成長企業ファンド（資産成長型）	大和アセットマネジメント	グローバル株式	4.2%
6	たわらノーロード 日経225	アセットマネジメントOne	国内株式	4.0%
7	新光US-REITオープン	アセットマネジメントOne	海外REIT	3.8%
8	株式インデックス225	野村アセットマネジメント	国内株式	3.7%
9	たわらノーロード バランス(8資産均等型)	アセットマネジメントOne	バランス	3.3%
10	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース（為替ヘッジなし）	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	グローバル株式	2.7%

### 2024年度（2024/4～2025/3）

（店頭・ネット取扱い分合計、投信積立を含む。）

順位	ファンド名	投信会社名	投資対象	割合
1	iFree S&P500インデックス	大和アセットマネジメント	先進国株式	15.8%
2	野村インデックスファンド・日経225	野村アセットマネジメント	国内株式	13.5%
3	たわらノーロード 先進国株式	アセットマネジメントOne	先進国株式	6.3%
4	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	国内株式	5.6%
5	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	グローバル株式	5.4%
6	たわらノーロード 日経225	アセットマネジメントOne	国内株式	4.6%
7	ウォルター・スコット優良成長企業ファンド（資産成長型）	大和アセットマネジメント	グローバル株式	3.4%
8	株式インデックス225	野村アセットマネジメント	国内株式	3.3%
9	のむらッパ・ファンド(積極型)	野村アセットマネジメント	バランス	3.0%
10	たわらノーロード バランス(8資産均等型)	アセットマネジメントOne	バランス	2.7%

## 当行選定KPI②

### 投資信託商品ラインアップ

- 北洋銀行では、道民のみなさまの資産形成に資するファンドをご提案できるよう、投資信託のラインアップを整備しています。
- 2024年度においても、ファンドのパフォーマンスや商品カテゴリーの状況等をふまえ、ラインアップの入替を行いました。
- 2025年3月末時点の取扱ファンド数は、154ファンド（2024年3月末比+1ファンド）となっています。

### 2024年3月末の状況

商品カテゴリ	取扱商品数 (構成比)	うちインターネット専用 (構成比)
<b>株式</b>	<b>70 45.8%</b>	<b>33 40.2%</b>
国内株式	18 11.8%	8 9.8%
先進国株式	20 13.1%	13 15.9%
新興国株式	8 5.2%	4 4.9%
グローバル株式	24 15.7%	8 9.8%
<b>債券</b>	<b>38 24.8%</b>	<b>29 35.4%</b>
国内債券	5 3.3%	5 6.1%
先進国債券	14 9.2%	10 12.2%
新興国債券	8 5.2%	8 9.8%
ハイリルト債券	3 2.0%	2 2.4%
グローバル債券	8 5.2%	4 4.9%
<b>REIT</b>	<b>12 7.8%</b>	<b>5 6.1%</b>
国内REIT	3 2.0%	1 1.2%
海外REIT	5 3.3%	0.0%
グローバルREIT	4 2.6%	4 4.9%
<b>バランス</b>	<b>33 21.6%</b>	<b>15 18.3%</b>
国内バランス	1 0.7%	0.0%
海外バランス	32 20.9%	15 18.3%
<b>合計</b>	<b>153 100.0%</b>	<b>82 100.0%</b>

### 2025年3月末の状況

商品カテゴリ	取扱商品数 (構成比)	うちインターネット専用 (構成比)
<b>株式</b>	<b>70 45.5%</b>	<b>33 40.2%</b>
国内株式	18 11.7%	8 9.8%
先進国株式	20 13.0%	13 15.9%
新興国株式	8 5.2%	4 4.9%
グローバル株式	24 15.6%	8 9.8%
<b>債券</b>	<b>39 25.3%</b>	<b>29 35.4%</b>
国内債券	5 3.2%	5 6.1%
先進国債券	15 9.7%	10 12.2%
新興国債券	8 5.2%	8 9.8%
ハイリルト債券	3 1.9%	2 2.4%
グローバル債券	8 5.2%	4 4.9%
<b>REIT</b>	<b>13 8.4%</b>	<b>5 6.1%</b>
国内REIT	3 1.9%	1 1.2%
海外REIT	6 3.9%	0.0%
グローバルREIT	4 2.6%	4 4.9%
<b>バランス</b>	<b>32 20.8%</b>	<b>15 18.3%</b>
国内バランス	1 0.6%	0.0%
海外バランス	31 20.1%	15 18.3%
<b>合計</b>	<b>154 100.0%</b>	<b>82 100.0%</b>

## 当行選定KPI③

## 保険商品ラインアップ

- お客さまへより良い商品をご提供できるよう、機能やコスト等に優れた商品の新規導入など、ラインアップの入替を行いました。
- 2025年3月末時点の取扱商品数は、56商品（2024年3月末比+2商品）となっています。

### 2023年度（2023/4～2024/3）

（ほけんプラザを除く）

#### 一時払保険

商品カテゴリ	店頭取扱商品数	
	商品数	構成比
<b>円建</b>	<b>15</b>	<b>45.5%</b>
定額個人年金	4	12.1%
終身保険	11	33.3%
<b>外貨建</b>	<b>18</b>	<b>54.5%</b>
変額個人年金	1	3.0%
定額個人年金	3	9.1%
終身保険	14	42.4%
養老保険	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>33</b>	<b>100.0%</b>

うち手数料開示商品※ 29 87.9%

#### 平準払保険

商品カテゴリ	店頭取扱商品数	
	商品数	構成比
個人年金保険・学資	5	23.8%
終身保険	3	14.3%
医療・がん保険	8	38.1%
介護・収入保障保険・定期	5	23.8%
<b>合計</b>	<b>21</b>	<b>100.0%</b>

うち手数料開示商品※ 4 20.0%

### 2024年度（2024/4～2025/3）

（ほけんプラザを除く）

#### 一時払保険

商品カテゴリ	店頭取扱商品数	
	商品数	構成比
<b>円建</b>	<b>17</b>	<b>47.2%</b>
定額個人年金	4	11.1%
終身保険	13	36.1%
<b>外貨建</b>	<b>19</b>	<b>52.8%</b>
変額個人年金	1	2.8%
定額個人年金	3	8.3%
終身保険	15	41.7%
養老保険	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>36</b>	<b>100.0%</b>

うち手数料開示商品※ 33 91.7%

#### 平準払保険

商品カテゴリ	店頭取扱商品数	
	商品数	構成比
個人年金保険・学資	5	25.0%
終身保険	3	15.0%
医療・がん保険	7	35.0%
介護・収入保障保険・定期	5	25.0%
<b>合計</b>	<b>20</b>	<b>100.0%</b>

うち手数料開示商品※ 4 20.0%

- 札幌市内 2 カ所のほけんプラザでは、「ほけんプラザ」専用商品をラインアップし、より幅広いお客さまのニーズにお応えしております。
- ご来店が難しいお客さまには、ホームページから医療保険・がん保険をお申込みいただけます。
- また、保険コールセンターにおいて、非対面（電話）による医療保険・がん保険・終身保険のご提案を行っております。

※ 外貨建保険、変額保険、市場価格調整機能を備えた保険など、市場リスクを有する商品（2016年10月より開示）

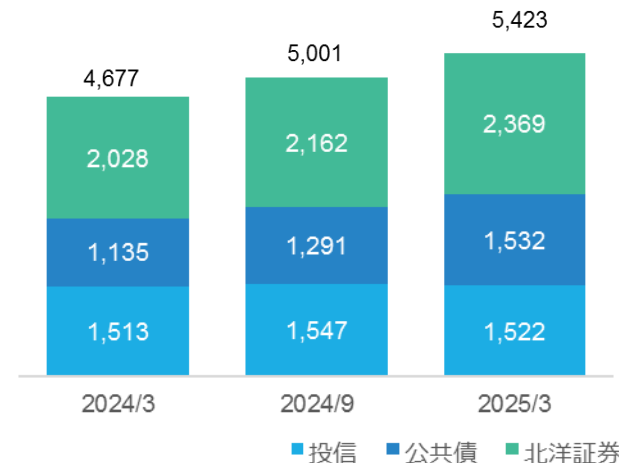
## 当行選定KPI④

### グループ預り資産残高

- 長期資産運用の提案を着実に実施したほか、高度な資産運用ニーズをお持ちのお客さまは北洋証券へ紹介し、深度あるコンサルティングを行ってまいりました。
- 「お客さまからの信頼の証」であるグループ預り残高は、5,423億円（2024年3月末比+746億円）となりました。

※ グループ預り残高 = 銀行投信残高 + 銀行公共債残高 + 北洋証券残高（金融商品仲介を含む）

グループ預り資産残高推移（億円）



## 当行選定KPI⑤

### 投信積立 期中振替金額

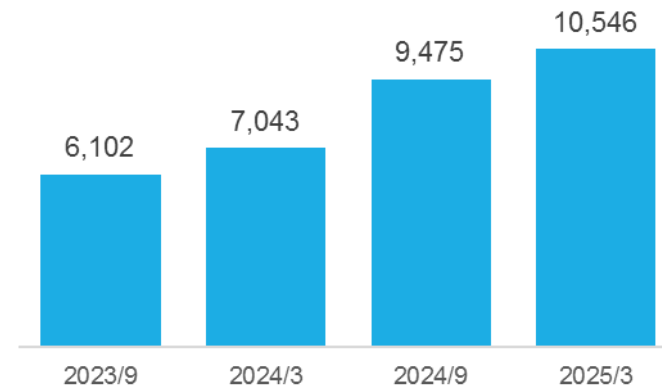
- 当行では、安定的な資産形成を実現する手段として、「ほくよう投信積立サービス」を利用した「長期・積立・分散」の資産運用をお勧めしています。
- 投信積立の振替額は着実に増加しており、2024年度の年間振替額は約200億円（2023年度比+69億円）となりました。

- 北洋投信ダイレクト 積立操作方法案内動画を製作

- 「北洋つみ活ガイド」を活用した、対面でのわかりやすい説明



投信積立 期中振替金額推移（百万円）



# 取組方針 1 お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

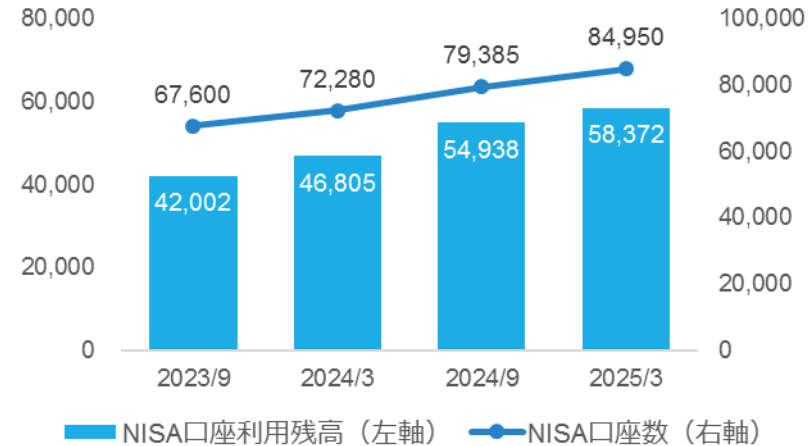
金融庁原則 2、2（注）に対応

## 当行選定KPI⑥

### NISA口座数 NISA口座利用残高

- 2024年1月にスタートした新NISAについて、道民の皆さまへの普及・浸透を地域金融機関としての使命と捉え、本部・営業店が一丸となって、お客さまへのさまざまなご提案を行いました。
- 2025年3月末時点のNISA口座数は、84,950口座（2024年3月末比+12,670口座）、NISA利用残高は58,372百万円（同+11,567百万円）となりました。

NISA口座数（先） NISA口座利用残高（百万円）



## ■ 職場つみたてNISAの提案

## ■ NISA特設ページ（当行ホームページ）



## ■ NISAキャンペーンを展開



## 取組方針 1 お客様本位に徹したコンサルティングの実践

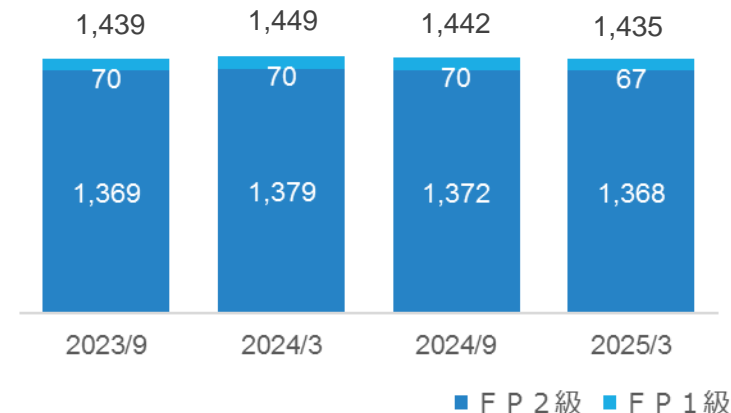
金融庁原則 2、2（注）に対応

### 当行選定KPI⑦

### FP技能士資格取得者数（1級・2級）

- お客様ニーズに沿った最適な商品をご提案するため、全役職員に対し金融に関する資格（FP技能士等）の取得を推奨するなど、高度の専門性と職業倫理を有する金融のプロとしての自覚・意識醸成を図っております。
- FP技能士（1級・2級）取得者数は、2025年3月末時点で1,435人（2024年3月末比 ▲14人）となり、資格保有者の退職等が新規の資格取得者数を上回ったため減少しましたが、資格取得奨励制度を拡充し、新規資格取得や上位資格取得を促進していきます。

### FP技能士資格取得者数（人）



## 取組方針 2 お客様の利益を第一とした管理体制の強化

金融庁原則 3・3（注）に対応

- お客様向けの「金融商品の取扱い」に関する利益相反の状況を適切に把握・管理するために「利益相反管理マニュアル」を制定しています。その「利益相反管理マニュアル」に基づき、「利益相反管理統括部門」（法務コンプライアンス部）において、商品・サービス等を最終的にご利用いただくお客様の利益を害することがないよう検討・確認しております。 ※ 2024年度の確認商品数 5商品
- 当行は、引き続き利益相反の可能性について注意を要する商品組成・商品運用会社（部門）は有しておりません。
- 当行で取扱いのない商品について、当行グループ会社等をご紹介する場合、お客さまからご紹介等にかかるご同意を事前にいただいております。
- 長期的・安定的な資産形成をお客さまにご提案するにあたり、中長期的な資産運用ニーズに適合しないとの判断から、公募による仕組債（デュアル債・リンク債等）の販売を2022年8月より中止しております。なお、私募による組成を希望されるお客さまは、北洋銀行グループ子会社の北洋証券を紹介させていただき、北洋証券でのお取扱いガイドラインに基づき、ニーズに沿った商品をご提供しております。



# 取組方針5 お客さまに寄りそったサービスの提供

## 当行選定KPI⑧

### お客さま向けセミナー開催状況

- お客さま向けセミナーを積極的に開催したほか、他社さまとの合同セミナーやイベントにも参加し、様々な機会を通じて、道民の資産形成を後押しする情報提供に取り組みました。
- 2024年度に営業店がお取引先企業さま向けに実施したセミナーの回数は、2023年度比で減少致しましたが、着実なNISAの浸透や、セミナー講師を務める行員のスキルアップにより、NISA口座数・残高は着実に増加しています（6P.参照）。

#### ■ 「北洋NISAフェス！」を開催



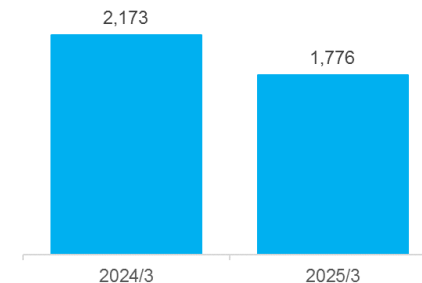
#### ■ 「道新資産運用フェア」へ参加（北海道新聞社主催）



#### ■ さまざまなテーマで、セミナーを開催（対面・WEB）



### 営業店主催 お取引先向けセミナー 実施回数



# 取組方針 5 お客さまに寄りそったサービスの提供

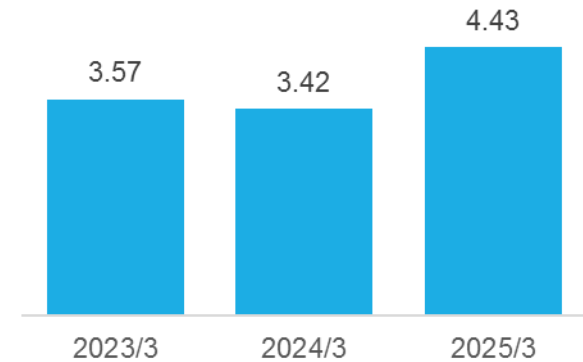
## 当行選定KPI⑨

## 投信平均保有年数

- 当行では、「長期・積立・分散」の考え方に立った安定的な資産形成・資産運用をお客さまにご案内しています。
- 2025年3月末時点におけるお客さまの投資信託平均保有年数は4.43年（2024年3月末比+1.01年）となり、長期化しました。

$$\text{※平均保有期間} = \frac{\text{（前年度末残高+年度末残高）} \div 2}{\text{（4月～3月の解約額+償還額）}}$$

## 投信平均保有年数（年）



## フォローアップの実施

- 投資信託をご購入いただいた後は、営業店によるフォローアップに加え、お電話にてフォローアップを行う専門部署（資産運用サポートデスク）を設置し、お預かり資産の近況報告や、お客さまの投資に関するお考えに変化がないか伺いするなど、ご安心してお取引いただけるよう努めています。
- 相場急変によりファンドの基準価額が大幅に下落した場合の対応ルールを整備し、実際の発生時にはルールに則ったお客さまへのフォローアップを実施しました。また、お客さまの不安を軽減できるよう、マーケット解説動画を配信しました。
- 外貨建保険・変額保険のご契約者さまに対しては、年1回のフォローを行うことを必須と定め、ご契約内容やご意向の確認を行っています。

## ご高齢のお客さまへの対応

- ご高齢のお客さまには、ご家族の同席をお願いするなど、お客さまのニーズや状況等に応じた商品提案を行っています。ご家族が遠方にお住まいの場合は、WEB面談も活用してご提案する他、保険商品については、ご家族同席が出来ない場合でもご家族のご理解を深めていただくよう、専用のチラシをご用意しております。
- リスクが高い商品に関しては、お客さまにとってふさわしい商品であるか等を慎重に検討し、ご提案を控えさせていただく場合もございます。
- 日本証券業協会のガイドラインに基づき、75歳以上のお客さまについて「継続的な状況把握」（体調面の変化や投資方針の変化等の確認）を実施しております。

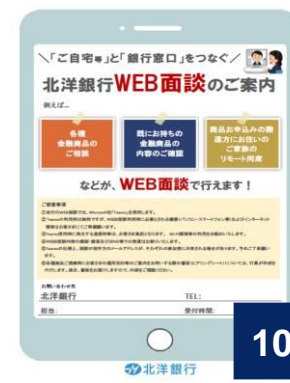
### ■ご家族同席お願いチラシ



### ■ご家族への保険商品ご案内チラシ



### ■WEB面談



# 取組方針5 お客さまに寄りそったサービスの提供

## ライフコンサルティングプラザの開設

- 住宅ローンのお取引を頂いているお客さまから、ワンストップで資産運用をご相談いただけるよう、「ローンプラザ」と「コンサルティングプラザ」を一体運営する「ライフコンサルティングプラザ」を開設いたしました。

## WEBを活用した申込受付・情報提供の強化

- お客さまに気軽に投資信託口座を始めていただけるよう、WEBでの口座開設を強化し、キャンペーンの実施、操作説明動画のホームページ掲載などに取り組みました。
- 「北洋銀行アプリ」の機能を拡充し、お客さまが保有されている投資信託の明細を確認できるようにしました。

## 休日・夜間の相談体制の拡充

- 「NISAや資産運用の相談をしたいのに、平日は銀行へ行けない」とのお客さまの声にお応えし、予約不要の「NISA休日相談会」の開催を始めました。
- 休日や夜間でもNISAの相談をお受けできるよう、専用フリーダイヤルの「NISAはじめてダイヤル」を開設しました。

## ■ ライフコンサルティングプラザ一覧（2025年3月時点）

プラザ名	開設日	休日営業日
琴似ライフコンサルティングプラザ	2024年4月1日	毎週 土曜日・日曜日
東区ライフコンサルティングプラザ		毎週 日曜日
麻生ライフコンサルティングプラザ	2024年7月1日	毎週 日曜日
白石ライフコンサルティングプラザ		毎週 日曜日
豊平ライフコンサルティングプラザ	2024年10月1日	毎週 日曜日

- ホームページ上に、投資信託口座開設方法を分かりやすく説明する動画を掲載



- 「北洋銀行アプリ」にて投資信託口座の「明細確認」を可能に



- 予約不要の「NISA休日相談会」



- NISAはじめてダイヤル



## 取組方針 6 お客さま本位を実践するための体制構築

### 経営理念の定着と評価体系

- 当行では、「お客さま本位を徹底」と経営理念に明記し、その浸透を経営トップが主導しています。
- 営業店表彰や個人表彰の制度においても、「お客さま本位の業務運営」に対する取組内容など、定性面の評価を重視した評価体系としています。

### 研修体系およびコンサルティングライセンス制度

- 職員向けの研修において、FD（フィデューシャリー・デューティー）方針の定着を目的としたカリキュラムを実施しております。
- 金融商品を単独で販売するための行内資格「コンサルティングライセンス制度」により、FDの浸透をはじめ、金融商品販売時に求められる知識やスキルレベルの統一化を図るとともに、ロールプレイングを実施することで、コンサルティングスキルの向上に努めております。

### （株）格付投資情報センター（R&I）による「顧客本位の金融販売会社評価」

- 当行は2025年5月、（株）格付投資情報センター（R & I）による「顧客本位の金融販売会社評価（※）」（以下、本評価）において、「S+」の評価を取得しております。前回2024年3月評価「S+」を維持しました。
- 本評価は、金融商品の販売において、銀行や証券会社などがいかに「顧客本位の業務運営」を行っているか、その取組方針や取組状況を（株）格付投資情報センター（R & I）が中立的な第三者の立場から評価するものです。
- 当行においては、「お客さまの最善の利益実現につながる専門性習得のための研修体系の整備」、「ライフステージに応じたソリューション複合提案の実践」、「経営陣が十分関与するプロダクトガバナンス態勢」、「お客さま本位の業務運営を重視した評価体系」など、「お客さま本位の業務運営」を企業文化として定着させるための各種取組みが評価されました。
- 引き続き、『「安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針」～「お客さま本位」（フィデューシャリー・デューティー）の徹底～』に基づく「行動計画」および「具体的取組」を実践し、お客さまにとって真に喜んでいただけるよう、より良い提案・行動に努めてまいります。



※R&I 顧客本位の金融販売会社評価は、投信販売業務を行う金融事業者の「顧客本位の業務運営」に関するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。十分信頼できると判断される情報源からの情報に基づき評価を実施していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。この評価情報の利用によって何らかの損害が発生した場合、その原因がいかなるものであれ、R&Iは一切の責任を負わないものとします。R&I 顧客本位の金融販売会社評価はR&I 投信定性評価・定量評価レーティングとはそれぞれ独立のものであり、互いの評価に影響を与えるものではありません。R&I 顧客本位の金融販売会社評価の業務は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。

# 投資信託・外貨建て保険の販売会社における比較可能な共通KPI

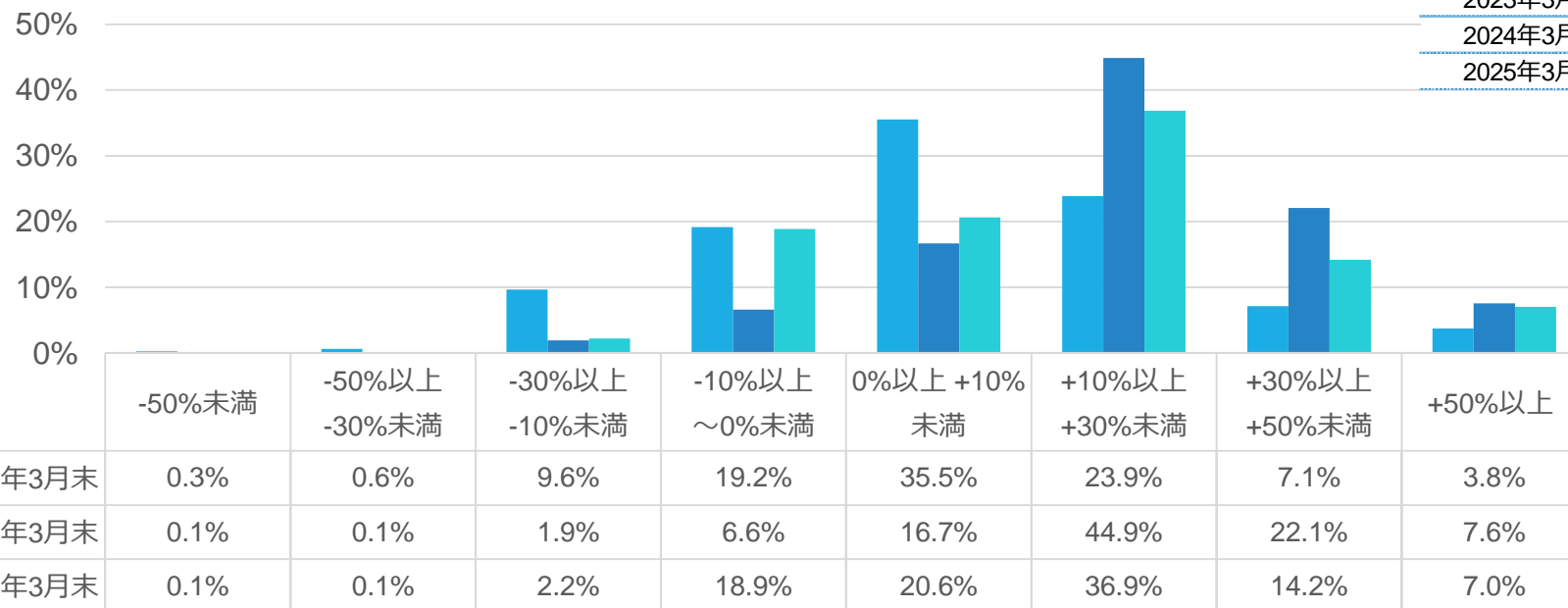
## 共通KPI①

### 投資信託における運用損益別顧客比率

- 2024年度は、世界的な株高となった2023年度から一転、2024年7月中旬から8月上旬にかけての相場急落のほか、2025年以降の軟調な相場展開から、保有期間が1年未満のお客さまを中心に、損益がマイナスのお客さまの割合が増加しました。
- 全体の損益がプラスのお客さまの割合は、2025年3月末時点で78.7%（2024年3月末比▲12.5%）となっています。

#### 運用損益がプラスのお客さま

2023年3月末	70.3%
2024年3月末	91.2%
2025年3月末	78.7%



#### <運用損益の算出方法>

【分子】 基準日時点の「評価金額 + 累計受取分配金（税引後） + 累計売付金額 - 累計買付金額（含む消費税込の販売手数料）」  
 基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外

【分母】 基準日時点の評価金額

【遡及期間】 当該銘柄の購入当初まで遡及

【対象口座数】 2023年3月末75,422口座、2024年3月末78,760口座、2025年3月末 84,729口座

# 投資信託・外貨建て保険の販売会社における比較可能な共通KPI

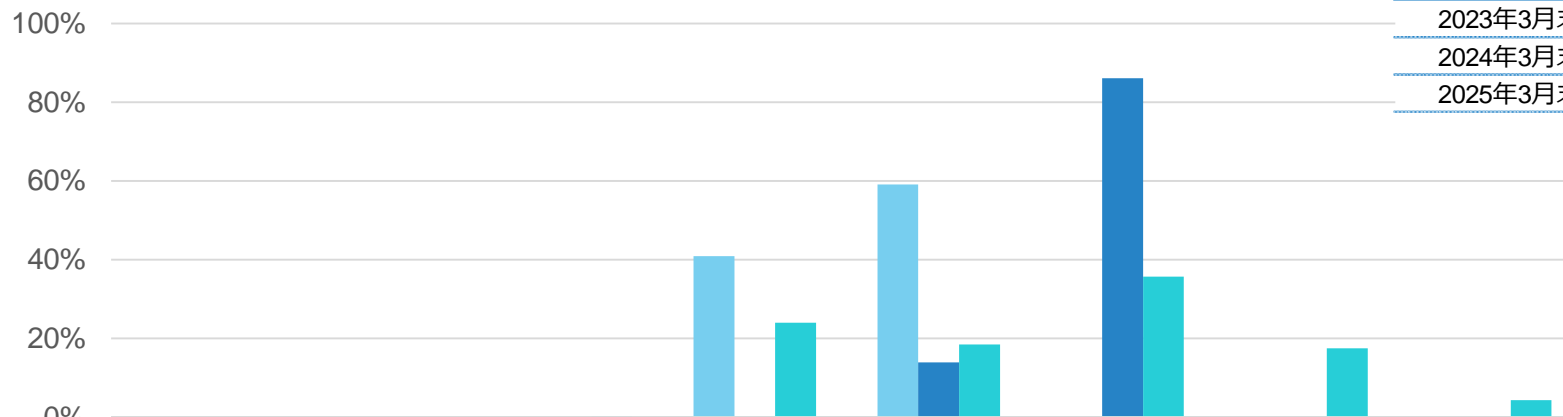
## 共通KPI②

### ファンドラップにおける運用損益別顧客比率

- 北洋証券を通じた金融仲介商品「北洋証券ファンドラップ ON COMPASS+」においても、運用期間の短いお客さまを中心に、損益がマイナスのお客さまの割合が増加しました。
- 全体の損益がプラスのお客さまの割合は、2025年3月末時点で75.9%（2024年3月末比▲24.1%）となっています。
- ご契約者さまの約7割が10年以上の長期契約となっており、引き続きライフプランに合わせたフォローを行って参ります。

#### 運用損益がプラスのお客さま

2023年3月末	59.1%
2024年3月末	100.0%
2025年3月末	75.9%



	-50%未満	-50%以上 -30%未満	-30%以上 -10%未満	-10%以上 ~0%未満	0%以上 +10% 未満	+10%以上 +30%未満	+30%以上 +50%未満	+50%以上
■ 2023年3月末	0.0%	0.0%	0.0%	40.9%	59.1%	0.0%	0.0%	0.0%
■ 2024年3月末	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.9%	86.1%	0.0%	0.0%
■ 2025年3月末	0.0%	0.0%	0.2%	23.9%	18.4%	35.7%	17.4%	4.3%

#### <運用損益の算出方法>

【分子】 基準日時点の「評価金額※ + 累計払戻金額 - 累計払込金額 ※投資一任報酬等の期中費用控除後の金額

【分母】 基準日時点の評価金額※ ※投資一任報酬等の期中費用控除後の金額

【遡及期間】 取引開始日まで遡及

【対象口座数】 2023年3月末428口座、2024年3月末741口座、2025年3月末1,090口座

# 投資信託・外貨建て保険の販売会社における比較可能な共通KPI

## 共通KPI③

## 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン

2025年3月末時点での残高上位20銘柄のコスト・リターンは、**コスト1.31%**（2024年3月末比▲0.20%）、**リスク13.32%**（同比▲0.78%）に対して **リターン14.07%**（同比+4.25%）となりました。

比較的成本の低いファンドの残高が増加したことにより、加重平均コストは減少。残高の多いファンドの直近5年間のパフォーマンスが良好だったことから、リスクは低下、リターンは向上しました。

### 2023年3月末

銘柄名	コスト	リスク	リターン
① 新光US-REITオープン	2.34%	18.22%	7.87%
② リスク抑制世界8資産バランスファンド	0.98%	3.32%	-0.48%
③ 財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型(愛称:財産3分法)	1.49%	9.16%	3.25%
④ 投資のソムリエ	1.98%	3.72%	-0.44%
⑤ 北海道未来の夢創生ファンド(愛称:北の夢切符)	1.54%	14.79%	0.46%
⑥ MHAM J-REIT インデックスファンド 毎月決算型	1.05%	14.85%	4.48%
⑦ 株式インデックス225	1.12%	17.04%	6.93%
⑧ ニッセイIPX日経400アクティブファンド	2.24%	17.50%	5.57%
⑨ 野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド A1-ス	2.07%	6.11%	-1.28%
⑩ たわらノーロード 先進国株式	0.10%	17.99%	13.54%
⑪ アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.42%	18.29%	1.42%
⑫ 野村ターゲットインカムファンド(年3%目標分配型)	1.46%	9.29%	-1.48%
⑬ たわらノーロード日経225	0.14%	17.07%	7.40%
⑭ ルディック社債ファンド 為替ヘッジあり	2.36%	13.21%	4.10%
⑮ 新成長株ファンド(愛称:グローバル・プラス)	2.53%	22.27%	3.65%
⑯ たわらノーロードバランス(8資産均等型)	0.14%	10.14%	5.41%
⑰ グローバルA1ファンド 為替ヘッジあり	2.59%	27.96%	7.50%
⑱ マイ・ウェイ・ジャパン	1.09%	2.59%	1.03%
⑲ H S B C インドオープン	2.86%	23.25%	7.01%
⑳ ビジネス・アセット・リターン・ファンド(毎月分配型)(愛称:リアル・アセット)	2.07%	6.23%	2.20%
残高加重平均値	1.63%	12.78%	3.73%

### 2024年3月末

銘柄名	コスト	リスク	リターン
① 新光US-REITオープン	2.34%	18.42%	7.66%
② 財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.49%	9.28%	5.94%
③ リスク抑制世界8資産バランスファンド	0.98%	3.65%	-0.21%
④ たわらノーロード 先進国株式	0.10%	17.20%	19.90%
⑤ 投資のソムリエ	1.98%	3.95%	-0.58%
⑥ たわらノーロード 日経225	0.14%	17.03%	15.75%
⑦ 株式インデックス225	1.12%	17.00%	15.22%
⑧ MHAM J-REIT インデックスファンド 毎月決算型	1.05%	15.12%	2.16%
⑨ iFree S&P500インデックス	0.22%	17.20%	22.05%
⑩ たわらノーロード バランス(8資産均等型)	0.14%	10.00%	8.12%
⑪ ニッセイIPX日経400アクティブファンド	2.24%	16.44%	15.57%
⑫ 北海道未来の夢創生ファンド(愛称:北の夢切符)	1.54%	13.95%	11.13%
⑬ netWIN GSTグローバル株式ファンドB1-ス(為替ヘッジなし)	2.75%	21.20%	23.20%
⑭ グローバルA1ファンド	2.59%	27.67%	22.74%
⑮ 野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド A1-ス	2.07%	6.51%	-1.10%
⑯ アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.42%	17.24%	5.26%
⑰ H S B C インドオープン	2.86%	22.42%	16.23%
⑱ 野村ターゲットインカムファンド(年3%目標分配型)	1.46%	9.48%	-1.17%
⑲ ルディック社債ファンド 為替ヘッジあり	2.36%	8.33%	2.39%
⑳ ニッセイSDGsグローバル株式ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	2.24%	17.43%	15.41%
残高加重平均値	1.51%	14.10%	9.82%

### 2025年3月末

銘柄名	コスト	リスク	リターン
① 新光US-REITオープン	2.34%	16.15%	12.28%
② iFree S&P500インデックス	0.20%	16.20%	25.29%
③ たわらノーロード 先進国株式	0.10%	15.27%	24.29%
④ たわらノーロード 日経225	0.14%	15.63%	15.39%
⑤ 財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.49%	7.71%	6.56%
⑥ たわらノーロード バランス(8資産均等型)	0.14%	8.14%	10.48%
⑦ 株式インデックス225	1.12%	15.61%	15.10%
⑧ netWIN GSTグローバル株式ファンドB1-ス(為替ヘッジなし)	2.75%	22.50%	22.50%
⑨ リスク抑制世界8資産バランスファンド	0.98%	3.61%	-1.60%
⑩ 投資のソムリエ	1.98%	4.03%	-2.16%
⑪ 北海道未来の夢創生ファンド	1.54%	11.80%	12.20%
⑫ ニッセイIPX日経400アクティブファンド	2.24%	14.86%	16.72%
⑬ MHAM J-REIT インデックスファンド 毎月決算型	1.05%	10.91%	4.77%
⑭ H S B C インドオープン	2.86%	19.44%	26.70%
⑮ グローバルA1ファンド	2.59%	27.28%	23.07%
⑯ アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.42%	14.1%	12.7%
⑰ 野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド A1-ス	2.07%	5.45%	0.48%
⑱ ルディック社債ファンド 為替ヘッジあり	2.36%	3.74%	6.13%
⑲ 野村ターゲットインカムファンド(年3%目標分配型)	1.46%	6.63%	0.91%
⑳ 米国連続増配成長株オープン	0.66%	14.4%	18.4%
残高加重平均値	1.31%	13.32%	14.07%

＜コスト・リターン、リスク・リターンの算出方法＞

【対象ファンド】 2025年3月末時点で設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄

【コスト】 当行販売手数料率上限の1/5と信託報酬の合計値 【リスク】 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

【リターン】 過去5年間のトータルリターン(年換算)

※上記の数値等は過去の実績であり、将来のコスト・リスク・リターンをお約束するものではありません。

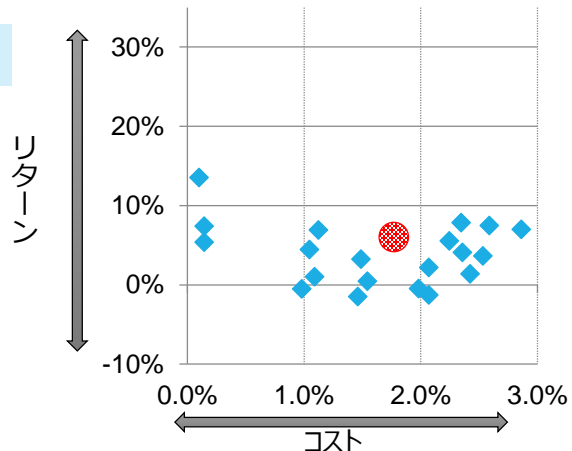
# 投資信託・外貨建て保険の販売会社における比較可能な共通KPI

## 共通KPI③

### 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスクリターン

2023年3月末

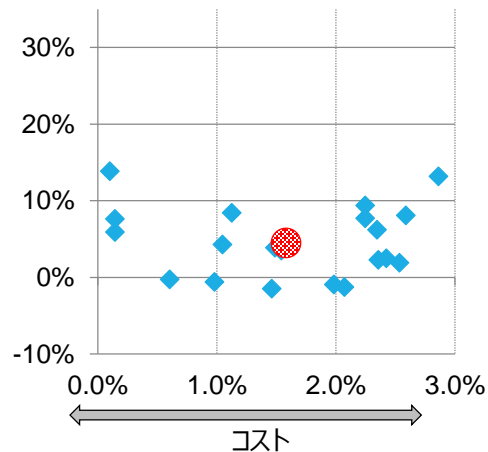
コスト・リターン



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.63%	3.73%

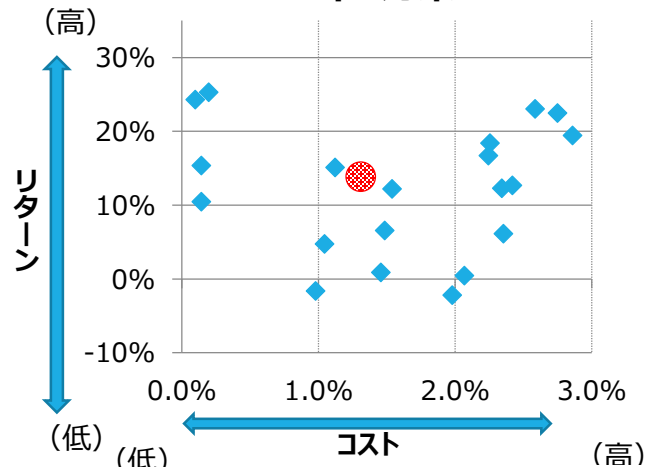
2024年3月末

リターン



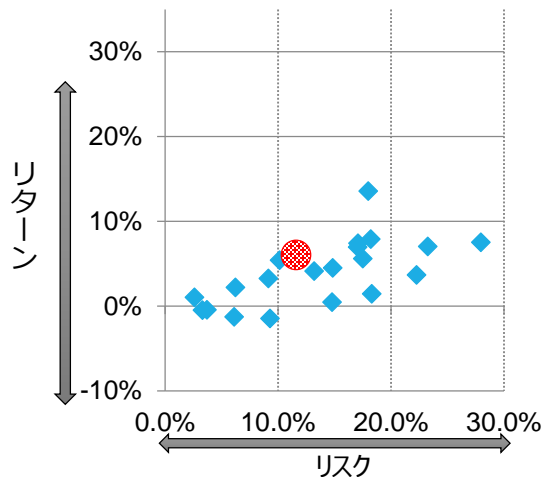
残高加重平均値	コスト	リターン
	1.51%	9.82%

2025年3月末

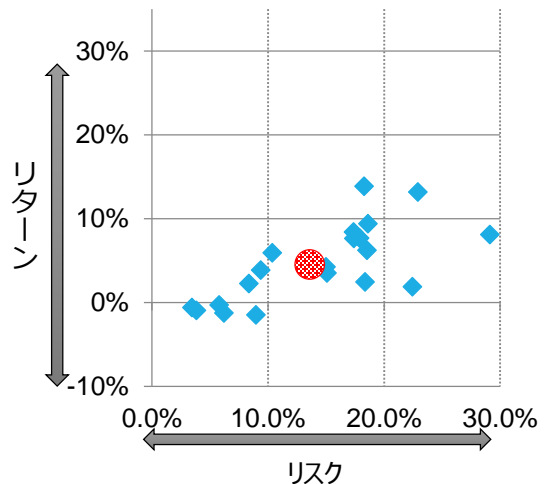


残高加重平均値	コスト	リターン
	1.31%	14.07%

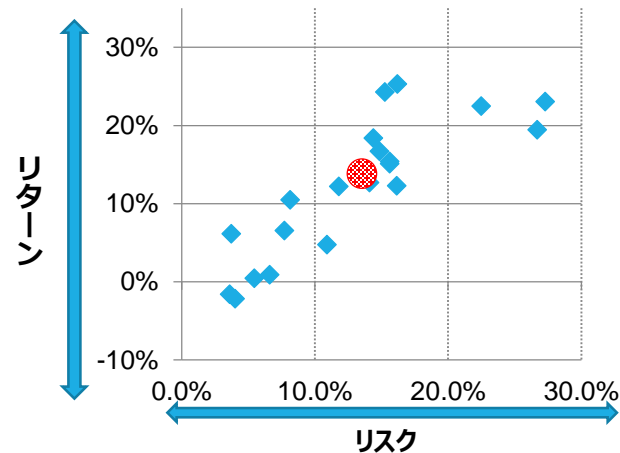
リスク・リターン



残高加重平均値	リスク	リターン
	12.78%	3.73%



残高加重平均値	リスク	リターン
	14.10%	9.82%



残高加重平均値	リスク	リターン
	13.32%	14.07%

# 投資信託・外貨建て保険の販売会社における比較可能な共通KPI

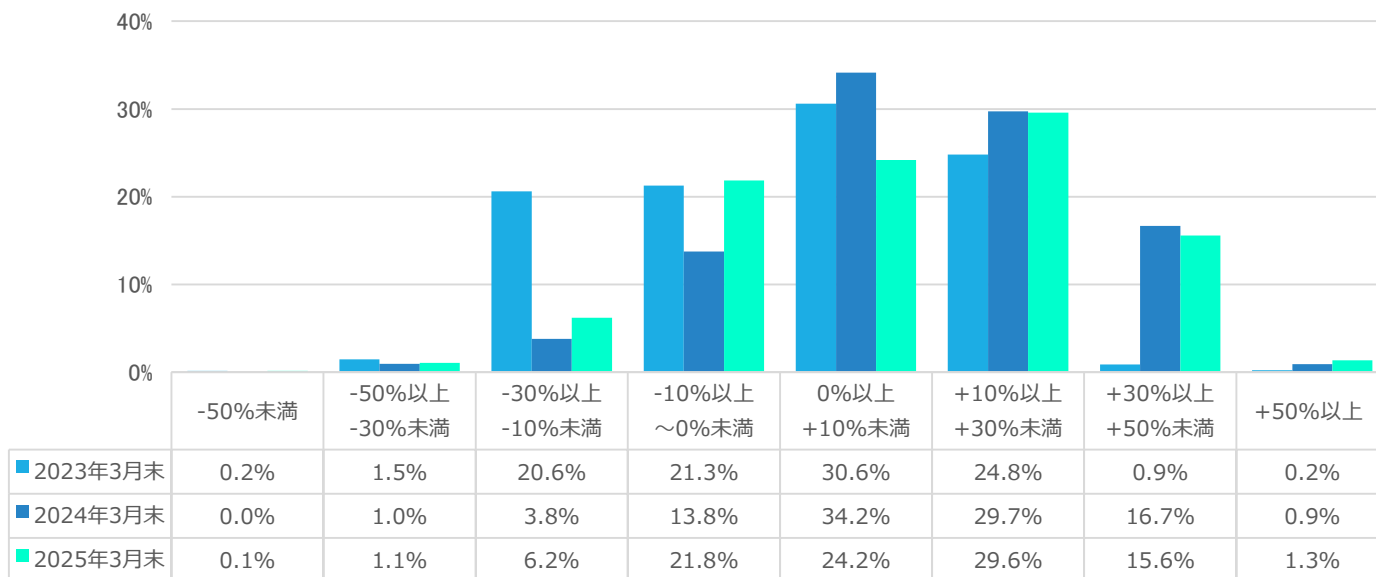
## 共通KPI④

### 外貨建保険における運用損益別顧客比率

2025年3月末時点では**運用損益プラスのお客さまは70.7%**（2024年3月末比▲10.8%）となりました。

※1 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、**契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります**（2025年3月末時点、契約後1年未満の契約のうち運用損益マイナスの割合は98.1%）。

※2 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。また、商品によっては、据置期間中の解約返戻金を抑制する等の機能もありますので、据置期間経過後の評価とは異なります。



	運用損益別顧客比率		
	マイナス	プラス	計
計	29.3%	<b>70.7%</b>	100.0%
うち契約後 5年以上	6.1%	<b>93.9%</b>	100.0%
うち契約後 1年以上5年未満	32.7%	<b>67.3%</b>	100.0%
うち契約後 1年未満	<b>98.1%</b>	1.9%	100.0%

#### <運用損益の算出方法>

【分子】・（基準日時点の解約返戻金額 + 基準日時点の既支払金額） - 契約時点の一時払保険料（いずれも円換算）

【分母】・契約時点の一時払保険料（円換算）

【対象契約】・基準日時点で個人のお客さまが保有している外貨建一時払保険（外貨建医療保険、外貨建平準払保険、介護保障や特定疾病保障等、生前給付の保障が組み込まれている商品、

基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約（据置期間の契約も含む）を除く）

【保有契約数】2025年3月末時点 21,882契約（2024年3月末比+2,164）

# 投資信託・外貨建て保険の販売会社における比較可能な共通KPI

## 共通KPI⑤

## 外貨建保険残高上位20銘柄のコスト・リターン

2025年3月末時点での残高上位20銘柄のコスト・リターンは、コスト**0.73%**（2024年3月末比▲0.20%）に対してリターン**2.87%**（同比▲0.84%）となりました。

※外貨建保険残高：各年3月末時点の解約返戻金額（円換算）＋同時点の既支払金累計額の合計

2023年3月末

銘柄名	コスト	リターン
① 外貨建・エブリバディプラス	1.22%	1.47%
② プレミアレシーブ(外貨建)	0.71%	1.17%
③ しあわせ、ずっと	0.82%	0.97%
④ サニーガーデンEX	0.98%	1.45%
⑤ やさしさ、つなぐ	0.53%	-0.89%
⑥ 未来につなげる終身保険	1.21%	0.95%
⑦ プレミアジャンプ	0.90%	0.21%
⑧ ふるはーとJロードグローバル	0.99%	2.39%
⑨ ロングドリームGOLD	0.79%	1.16%
⑩ プレミアジャンプ・年金(外貨建)	0.99%	0.49%
⑪ えがお、ひろがる	1.08%	-0.12%
⑫ 生涯プレミアムワールド4	0.88%	0.39%
⑬ ビーウィズユー	0.69%	1.16%
⑭ 生涯プレミアムワールド3	0.81%	-0.09%
⑮ 夢のプレゼント	0.63%	1.85%
⑯ プレミアカレンシー・プラス2	1.01%	1.92%
⑰ ロングドリームプラス	0.59%	2.42%
⑱ モンターニュ	0.27%	2.99%
⑲ デュアルドリーム	0.91%	-0.28%
⑳ プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	1.34%	0.48%
加重平均	<b>0.96%</b>	<b>1.09%</b>

2024年3月末

銘柄名	コスト	リターン
① 外貨建・エブリバディプラス	1.01%	4.03%
② サニーガーデンEX	0.94%	4.32%
③ しあわせ、ずっと	0.74%	1.48%
④ やさしさ、つなぐ	0.52%	0.45%
⑤ プレミアレシーブ(外貨建)	0.91%	5.19%
⑥ 未来につなげる終身保険	1.13%	3.19%
⑦ プレミアプレゼント	0.89%	4.35%
⑧ ロングドリームGOLD2	1.06%	6.54%
⑨ 夢のプレゼント	0.60%	5.73%
⑩ ふるはーとJロードグローバル	0.86%	3.69%
⑪ 生涯プレミアムワールド4	0.81%	1.65%
⑫ プレミアカレンシー・プラス2	0.91%	3.58%
⑬ ビーウィズユー	0.63%	2.41%
⑭ えがお、ひろがる	0.94%	1.21%
⑮ プレミアストーリー2	0.85%	3.07%
⑯ 生涯プレミアムワールド3	0.72%	0.95%
⑰ ロングドリームGOLD	0.79%	3.33%
⑱ あしたの、よろこび	1.25%	4.24%
⑲ ロングドリームプラス	0.57%	4.04%
⑳ モンターニュ	0.25%	3.47%
加重平均	<b>0.93%</b>	<b>3.71%</b>

2025年3月末

銘柄名	コスト	リターン
① プレミアレシーブ(外貨建)	0.55%	2.83%
② サニーガーデンEX	0.93%	4.15%
③ やさしさ、つなぐ	0.49%	0.62%
④ 未来につなげる終身保険	1.11%	2.24%
⑤ プレミアプレゼント	0.85%	2.82%
⑥ しあわせ、ずっと	0.58%	1.30%
⑦ ふるはーとJロードグローバル	0.76%	3.63%
⑧ 夢のプレゼント	0.53%	3.86%
⑨ ロングドリームGOLD2	0.87%	5.70%
⑩ 生涯プレミアムワールド5	0.83%	3.69%
⑪ 生涯プレミアムワールド4	0.68%	0.45%
⑫ プレミアストーリー2	0.73%	3.11%
⑬ プレミアカレンシー・プラス2	0.60%	2.97%
⑭ ロングドリームGOLD	0.74%	1.47%
⑮ ロングドリームGOLD3	0.96%	4.97%
⑯ 外貨建・エブリバディプラス	0.73%	3.77%
⑰ 生涯プレミアムワールド3	0.66%	0.12%
⑱ えがお、ひろがる	0.83%	1.14%
⑲ ビーウィズユー(USD建)	0.39%	3.11%
⑳ 悠々時間アドバンス2(ふやしてうけとるプラン)	0.90%	2.28%
加重平均	<b>0.73%</b>	<b>2.87%</b>

<コスト・リターンの算出方法>

【対象銘柄】 基準日時点で契約後5年以上の外貨建保険残高上位20銘柄

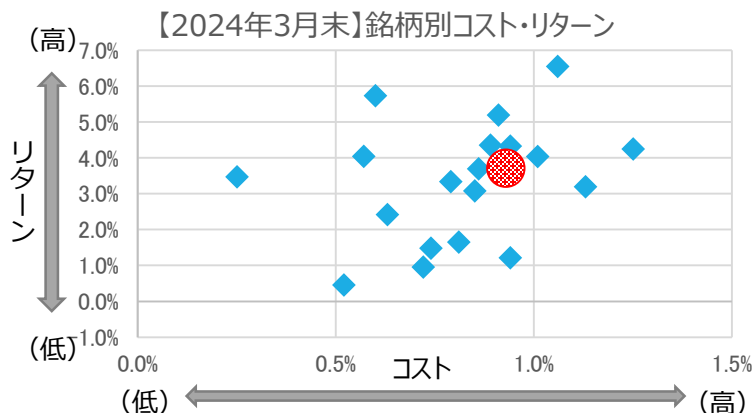
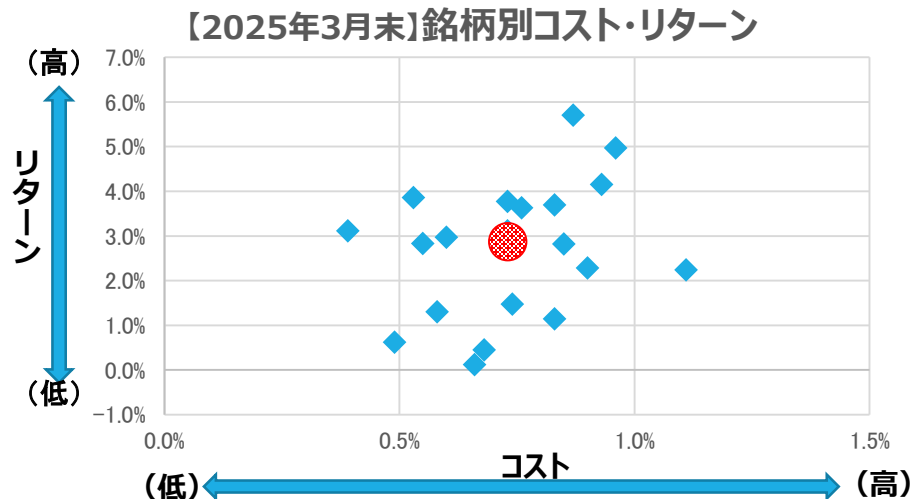
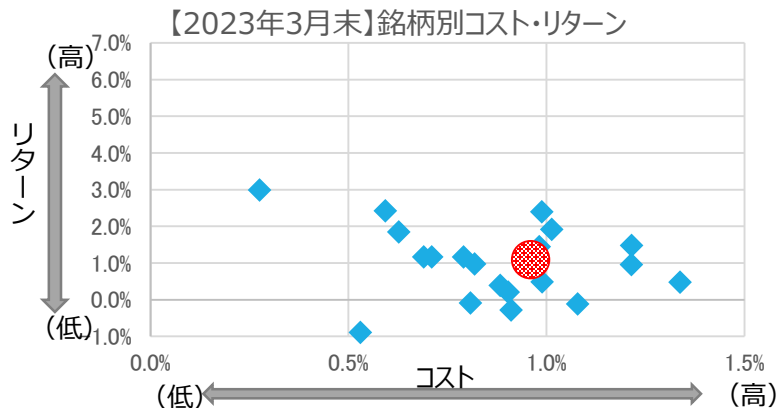
【コスト】 保険会社が支払う代理店手数料（新契約手数料率と年間の継続手数料率）を使用し、各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均して算出。

【リターン】  $(\text{解約返戻金額} + \text{既支払金額} - \text{契約時点の一時払保険料}) \div (\text{契約時点の一時払保険料})$  を年率に換算し、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均して算出（いずれも円換算）

# 投資信託・外貨建て保険の販売会社における比較可能な共通KPI

## 共通KPI⑤

### 外貨建保険残高 上位20銘柄のコスト・リターン



加重平均	コスト	リターン
2023年3月末	0.96%	1.09%
2024年3月末	0.93%	3.71%
2025年3月末	0.73%	2.87%

<コスト・リターンの算出方法>

【対象銘柄】 基準日時点で契約後5年以上の外貨建保険残高上位20銘柄

【コスト】 保険会社が支払う代理店手数料（新契約手数料率と年間の継続手数料率）を使用し、各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均して算出。

【リターン】  $(\text{解約返戻金額} + \text{既支払金額} - \text{契約時点の一時払保険料}) \div (\text{契約時点の一時払保険料})$ を年率に換算し、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均して算出（いずれも円換算）